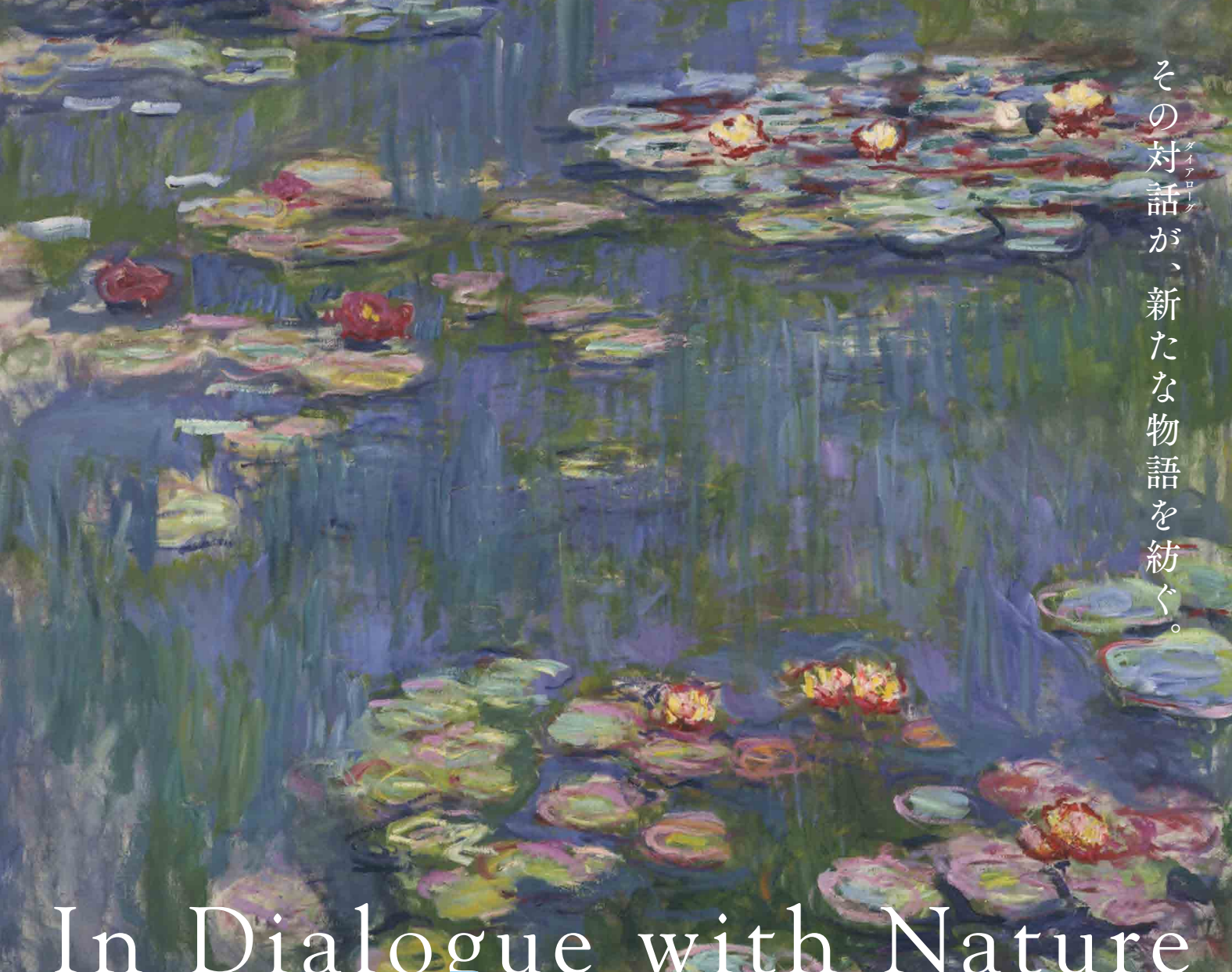




その対話が、新たな物語を紡ぐ。
ダイアローグ

In Dialogue with Nature

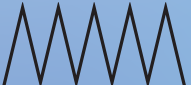
From Friedrich, Monet and Van Gogh to Richter

国立西洋美術館リニューアルオープン記念

自然と人の ダイアローグ

フリードリヒ、モネ、ゴッホ からリヒターまで

国立西洋美術館 × フォルクヴァング美術館

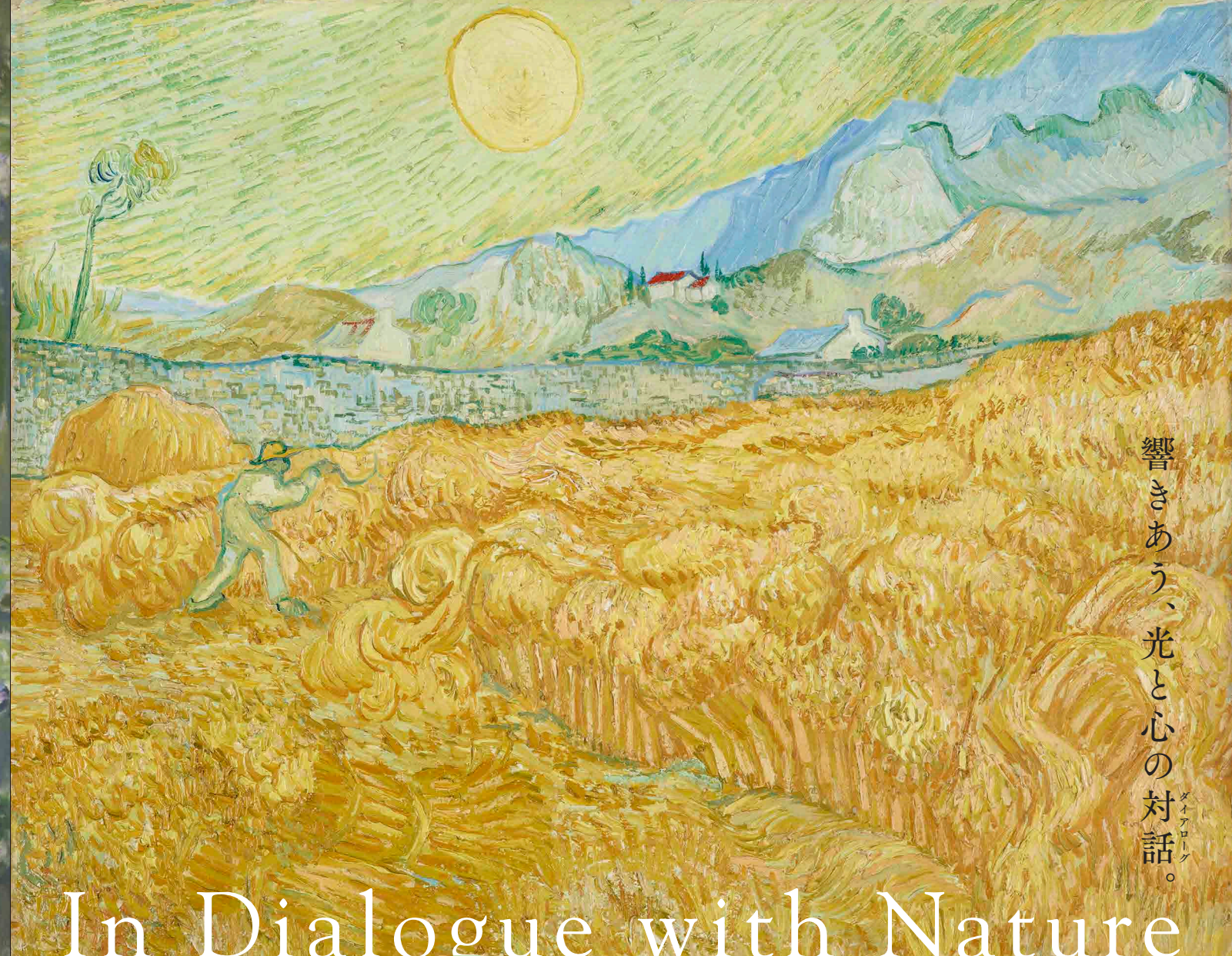
2022.6.4(土) — 9.11(日)  国立西洋美術館  東京 上野公園

料金 | 一般 2,000円、大学生 1,200円、高校生 800円 日時指定制 ※ウェブ予約チケットが完売していない日時に限り、国立西洋美術館券売窓口にて当日券を販売予定

*中学生以下、心身に障害のある方及び付添者1名は無料(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください) *国立美術館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員は本展覧会を学生1,000円、教職員1,800円でご覧いただけます。 ※入場方法等についての詳細は、後日公式サイト等で発表いたします。 Museum Folkwang

展覧会公式サイト | <https://nature2022.jp> お問い合わせ | 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

クロード・モネ《睡蓮》(部分) 1916年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション



響きあう、光と心の対話。
ダイアローグ

In Dialogue with Nature

From Friedrich, Monet and Van Gogh to Richter

国立西洋美術館リニューアルオープン記念

自然と人の ダイアローグ

フリードリヒ、モネ、ゴッホ からリヒターまで

国立西洋美術館 × フォルクヴァング美術館

2022.6.4(土) — 9.11(日)  国立西洋美術館  東京 上野公園

開館時間 | 午前9時30分〜午後5時30分(金・土曜日は午後8時まで) 休館日 | 月曜日、7月19日(火) ただし、7月18日(月・祝)、8月15日(月)は開館

主催 | 国立西洋美術館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション 共同企画 | フォルクヴァング美術館 後援 | ドイツ連邦共和国大使館 特別協賛 | Canon

協賛 | エポニック ジャパン、凸版印刷 協力 | ルフトハンザ カーゴ AG、西洋美術振興財団

※展覧会概要は変更の可能性があります。最新の情報は公式サイトをご確認ください。 フィンセント・ファン・ゴッホ《刈り入れ(刈り入れをする人のあるサン＝ポール病院裏の麦畑)》(部分) 1889年 油彩・カンヴァス フォルクヴァング美術館 © Museum Folkwang, Essen

西洋美術の巨匠たちによる、自然をめぐる100の物語…

国立西洋美術館リニューアルオープン記念として、ドイツ・エッセンの Folkwang Museum 美術館の協力を得て、自然と人の対話から生まれた近代の芸術の展開をたどる展覧会を開催します。

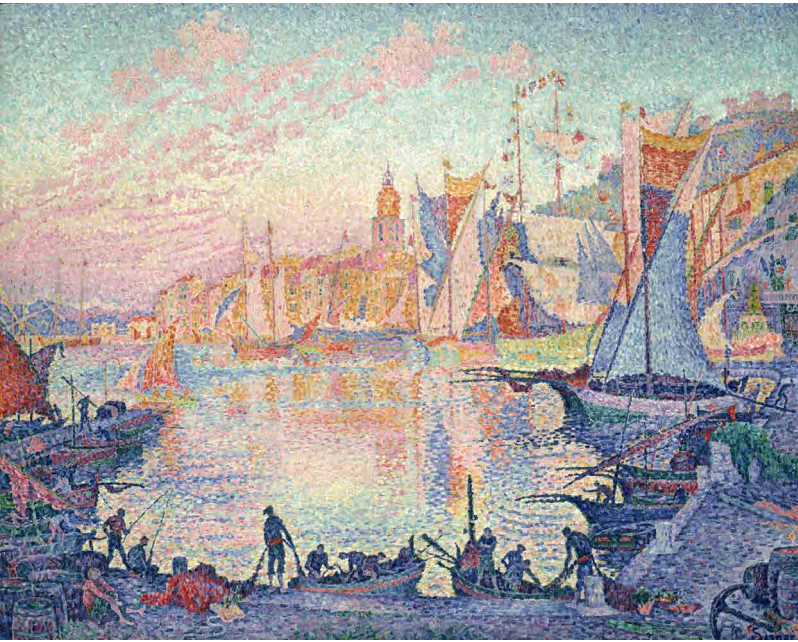
Folkwang Museum 美術館と国立西洋美術館は、同時代を生きたカール・エルンスト・オストハウス(1874-1921)と松方幸次郎(1866-1950)の個人コレクションをもとに設立された美術館です。本展では開館から現在にいたるまでの両館のコレクションから、印象派とポスト印象派を軸にドイツ・ロマン主義から20世紀絵画までの100点を超える絵画や素描、版画、写真を通じ、近代における自然に対する感性と芸術表現の展開を展覧します。産業や社会、科学など多くの分野で急速な近代化が進んだ19世紀から20世紀にかけて、芸術家たちも新たな知識とまなざしをもって自然と向き合い、この豊かな靈感源から多彩な作品を生み出していきます。

足元の草花から広大な宇宙まで、そして人間自身を内包する「自然」の無限の広がりから、2つの美術館のコレクションという枠で切り出したさまざまな風景の響き合いをお楽しみください。自然と人の関係が問い直されている今日、見る側それぞれの心のなかで作品との対話を通じて自然をめぐる新たな風景を生み出していいただければ幸いです。

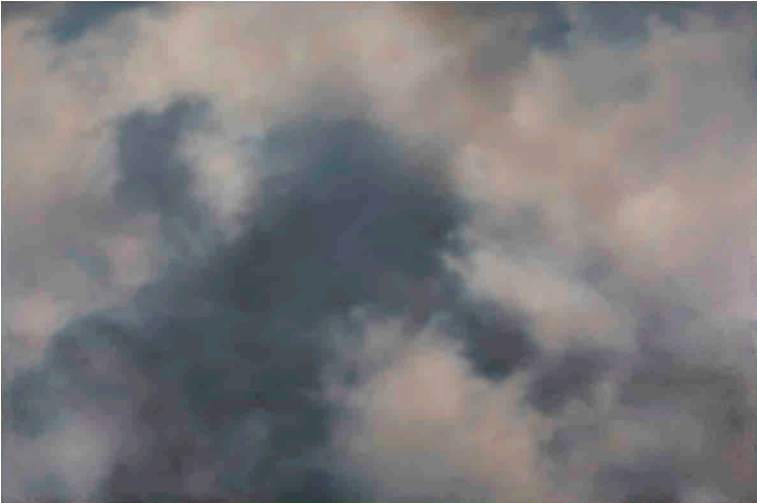
日独を代表する美術館による初のコラボレーション企画



クロード・モネ《舟遊び》
1887年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション



ポール・シニャック《サン＝トロペの港》
1901-1902年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館



ゲルハルト・リヒター《雲》1970年 油彩・カンヴァス Folkwang Museum 美術館
© Gerhard Richter 2022 (13012022) © Museum Folkwang, Essen



ポール・セザンヌ《ベルヴュの館と鳩小屋》
1890-1892年頃 油彩・カンヴァス Folkwang Museum 美術館 © Museum Folkwang, Essen

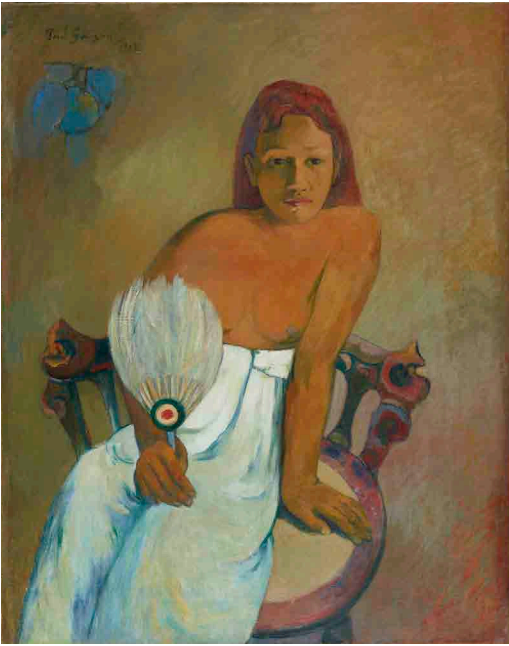
Folkwang Museum 美術館とオストハウス・コレクション

ドイツの産業都市ハーゲンの銀行家の家に生まれたオストハウスは、実業家の祖父から莫大な遺産を受け継いで、自然科学や民俗学的な資料からフランスやドイツの近代美術にいたるコレクションを形成。1902年、アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデが内装を手掛けた Folkwang Museum 美術館を故郷ハーゲンに設立しました。

第一次世界大戦後、オストハウスが死去したのち、1922年にハーゲンからほど近いエッセン市が市民たちの寄付によって同美術館のコレクションを買い取り、市の美術館と統合して新たな Folkwang Museum 美術館を設立しました。その後、ナチス政権下での収蔵品押収や、第二次世界大戦中の爆撃といった困難を乗り越えて戦後に再建を果たした同美術館は、今日、優れた近現代美術のコレクションで知られています。



左:カール・エルンスト・オストハウス Albert Renger-Patzsch, Karl Ernst Osthaus, before 1921 © Museum Folkwang, Essen
右:Folkwang Museum 美術館外観 © Museum Folkwang, Essen, photo: Sebastian Drüen



ポール・ゴーガン《扇を持つ娘》
1902年 油彩・カンヴァス Folkwang Museum 美術館 © Museum Folkwang, Essen



パウル・クレー《月の出(サン＝ジェルマン界限)》
1915年 水彩・鉛筆／カルトン紙 Folkwang Museum 美術館
© Museum Folkwang, Essen



フェルディナント・ホドラー《モンタナ湖から眺めたヴァイスホルン》
1915年 油彩・カンヴァス Folkwang Museum 美術館 © Museum Folkwang, Essen

ドイツ・ロマン派、印象派、ポスト印象派の作家たちが描き出す、光と風景の結晶

1年半の休館を経て、リニューアルした新しい国立西洋美術館にご注目ください

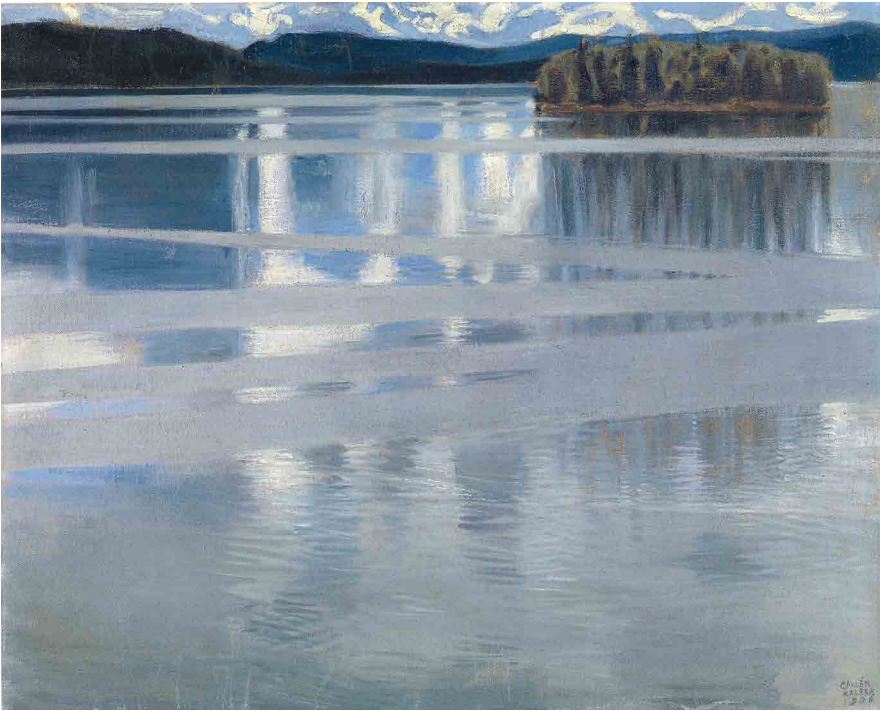
デザイン上も大きな意味を持つ前庭の目地、西門の位置や困障など、ル・コルビュジエの設計をもとに、1959年に創建した当時の姿に近づける工事を行いました。



創建当初(1959)とリニューアル工事前(2016)



カスパー・ダーヴィト・フリードリヒ《夕日の前に立つ女性》1818年頃 油彩・カンヴァス Folkwang Museum 美術館
© Museum Folkwang, Essen



アクセリ・ガッレン＝カッレラ《ケイテレ湖》
1906年 油彩・カンヴァス 国立西洋美術館



国立西洋美術館

The National Museum of Western Art

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 <https://www.nmwa.go.jp>

交通 | JR上野駅下車(公園口) 徒歩1分、京成電鉄京成上野駅下車徒歩7分、東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分

* 当館に駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

